



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年9月4日（月） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
病虫害防除所	企画情報係	桑原	直通 058-239-3161 F A X 058-234-0767
農産園芸課	ぎふ清流GAP 推進係	河合、水野	内線 4116 直通 058-272-8436 F A X 058-278-2692

病虫害発生予察注意報(第2号)を発表 (ハスモンヨトウ)

大豆、野菜類及び花き類の重要害虫「ハスモンヨトウ」の発生が平年より多いため、本日、別添のとおり、県下全域に対して発生予察注意報*（別添資料）を発表します。

記

作物名 : 大豆、野菜類及び花き類
病虫害名 : ハスモンヨトウ
発生地域 : 県下全域
発生時期 : 8月下旬以降
発生程度 : 多い

○防除についての相談先

岐阜県病虫害防除所（TEL：058-239-3161）へお問い合わせください。

*発生予察注意報とは

- ・病虫害防除所は、植物防疫法第23条第2項に基づき、農作物の病虫害の発生状況を把握するための調査を行っています。
- ・同所は、調査結果や気象予報などの情報を元に、特定の病虫害が大発生することが予想される場合は「発生予察警報」を、警報を発表するほどではないものの多発することが予想される場合には「発生予察注意報」を発表し、農業者に防除するよう注意喚起します。

令和5年度病害虫発生予察注意報第2号

令和5年9月4日
岐阜県

作物名 大豆、野菜類および花き類

病害虫名 ハスモンヨトウ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 8月下旬以降

3 発生程度 多い

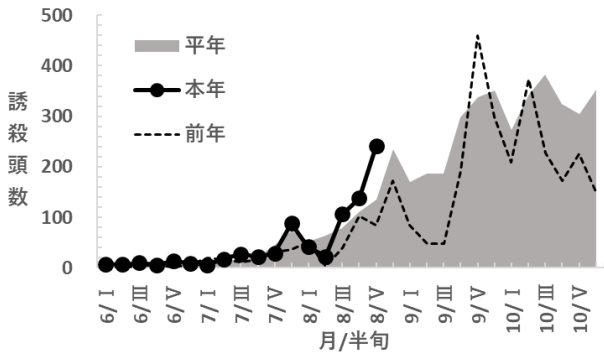
4 予報の根拠

- (1) フェロモントラップにおける7月第6半旬～8月第5半旬の累計誘殺数は、岐阜地域で638頭(平成513.6頭)、中濃地域で1,411頭(平成223.3頭)、東濃地域で904頭(平成124.8頭)と多く、平成と比較し1.2～7.2倍となっている(図)。
- (2) 8月下旬の巡回調査では、岐阜・西濃地域のサトイモで食害が確認されており、大豆では若齢幼虫の加害による白変葉が散見されている。
- (3) フェロモントラップによる誘殺ピークは平成9月下旬～10月上旬で、今後も発生量が増加し、被害が拡大すると考えられる。
- (4) 名古屋地方気象台の1か月予報(8月24日発表)では、今後の気温は平成より高いと予報されており、本虫の発生に好適な気象条件になると予測される。

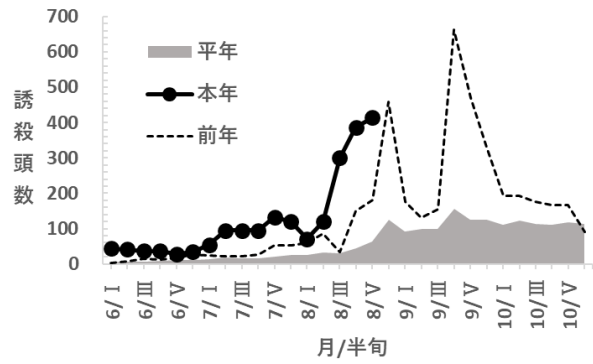
5 防除上の注意事項

- (1) 大豆では新たな白変葉等、食害の発生を確認したら、直ちに防除を実施する。
- (2) 幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫の防除に重点を置く。
- (3) 幼虫の発生量は、ほ場ごとに大きく異なるため、必ず各ほ場での発生状況を確認する。
- (4) 施設栽培では、防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。
- (5) 発生は露地で11月初旬、施設栽培では11月下旬まで続くと考えられるため、引き続き発生情報に注意する。
- (6) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム)

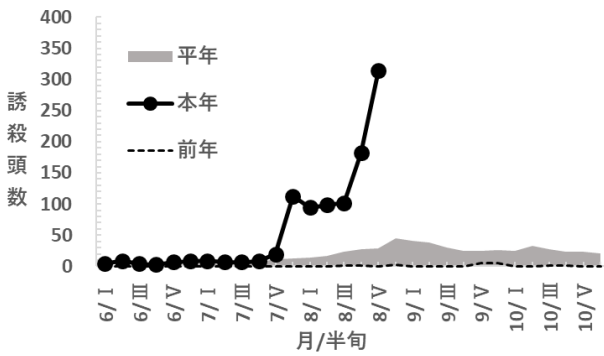
【参考資料】



岐阜市



金沢市



恵那市

図 各地域に設置したフェロモントラップにおける誘殺数の推移